



## 住みよい佐野市をめざして

# 小暮ひろし市議会報告 (第30号)

市議会議員 小暮 博志  
佐野市馬門町1597  
TEL・FAX (23) 8263  
携 帯 090-2679-3021  
kogure-hiroshi.com

### 第30号の 主な記事

- ・ 第3回佐野市議会定例会(9月2日～26日) (E-mail: kogurehi@sctv.jp)
- ・ \*\* 決算審査の他市状況調査 \*\*

### 第3回 佐野市議会定例会(9月2日～26日)

平成28年の第3回定例議会では、意見書案1件、議員案1件、報告5件、議案32件、陳情1件が審議。

次に、主な内容を報告します。

- (1) 意見書案第1号、議員案第1号について
- (2) 平成27年度 決算の認定
- (3) 平成28年度 補正予算
- (4) 陳情1件
- (5) 一般質問関係

#### (1) 意見書案第1号、議員案第1号について

\* 意見書案第1号：川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書について

(内容) 身近な川と遊び親しみ、自然の大切さを学び、川の恩恵に感謝する記念日(案:7月7日)として、「川の日」を国民の祝日に定めることを求めるもので、全員賛成で政府に提出。

\* 議員案第1号：佐野市議会議員定数条例の改正について  
(内容) 佐野市議会議員定数条例の定数26人を24人に改めるもので、賛成多数(賛成23人、反対2人)で可決。この改正の目指す所は、定数減と報酬増による、若い議員の進出です。以下、経過です。

- ・ 議員で構成する佐野市議会議員定数等検討委員会を設置し、6回にわたり、定数等を検討。
- ・ 本市と人口規模や産業構造の近い市議会との比較検討を行い、定数を決定。

(人口10万人～20万人の市における、議員数と報酬の関係を、小暮ひろしホームページに示す。)

☆☆☆☆☆☆☆☆



#### ●側溝の堀浚い実施

- ・市道59号線北側(約100m)
- ・関係者との共同作業

### (2) 平成27年度 決算の認定

決算審査特別委員会が、27名の議員により4日間行われました。収支状況は以下の表1のごとくでした。

一般会計の歳入額は547億7,800万円となり、昨年を抜き、過去最大となりました。歳入歳出差は27億6,000万円の黒字ですが、繰越金と基金の入出を考慮した実質単年度収支は12億2,900万円の赤字でした。

ここで、積立金総額約89億円、地方債総額約410億円となっていますが、実質公債費比率4.8%、将来負担比率10.2%であり、危険と判断される各々の25%と350%より大幅に小さく、健全な財政状況でした。

表1 平成27年度 一般・特別・事業会計 (百万円)

会 計		歳 入	歳入歳出差	一般会計より
一 般 会 計		54,778	2,760	0
特 別 会 計	国民健康保険(事業)	16,768	1,039	1,044
	国民健康保険(直営)	275	195	44
	公共下水道	3,400	195	1,221
	農業集落排水	175	15	122
	自家用有償バス	173	0	119
	介護保険(保健)	10,390	234	1,515
	介護保険(介護)	65	0	65
	後期高齢者	1,213	0	351
	佐野田沼産業団地	447	0	218
	西浦・黒袴産業団地	143	0	0
( 小 計 )		33,050	1,679	4,701
合 計		87,828	4,439	4,701
水道事業会計	収益的	2,418	409	28
	資本的	722	△1,091	62
病院事業会計	収益的	1,010	1	712
	資本的	143	△97	95

一般会計の中で、約5億円をこす事業として、

- 新庁舎建設事業費 54.0 億円
- ・ 児童手当支給事業費 18.8 億円
- ・ 生活保護扶養費給付事業費 18.4 億円
- ・ 介護給付事業費 15.4 億円
- ・ 中小企業融資預託事業関係 11.2 億円

○消防本部庁舎建設事業費	10.5 億円
・ 保育所運営入所委託事業費	8.2 億円
・ みかもグリーンセンターごみ焼却業務委託	6.8 億円
○消防デジタル無線等整備事業費	5.7 億円
・ 保育所運営事業費	5.1 億円
・ 児童扶養手当支給事業費	4.4 億円
・ 市債償還元金	49.8 億円

等があります。(○印は、本年度だけの支出です。)

又、特別会計の国民健康保険(事業)、公共下水道や介護保険(保険)には、10億円以上の大きなお金が一般会計から出ております。ここで、国民健康保険(事業)の繰越金が約10.4億円ありますが、前年の繰越金があったため、実質単年度収支額は約0.9億円です。

農業集落排水と自家用有償バスの歳入の約70%が一般会計からの支出となっております。(市民負担が大きい。)

以上の、平成27年度決算は、賛成多数で承認。

決算特別委員会として、10項目からなる決算審査要望書をまとめ、市長に提出。要点を、以下に示します。(詳細:小暮ひろしホームページ)

政友みらい(議員数8名)を代表し、私(小暮ひろし)が賛成討論を実施。(詳細:小暮ひろしホームページ)



賛成討論

### (決算審査要望書)の要点

1. 第3次行政改革大綱に掲げた行政改革の推進
2. 「佐野市まち・ひと・しごと創成総合戦略」の推進
3. 市有施設適正配置計画の策定、推進
4. 迅速な災害警戒本部の設置と対応
5. 柔軟かつ迅速な保育環境の整備
6. 佐野市人口ビジョンの人口目標の実現
7. まちづくり株式会社との連携による人口増
8. 小中一貫校、児童生徒の体力・学力向上、施設の老朽化対策の推進
9. 国民健康保険事業の財政運営(健康寿命の延伸、ジェネリック医薬品の促進、徴収率向上の実施)
10. 水道事業の公営企業会計への移行

## (3)平成28年度 補正予算

(一般会計関係) 平成27年度の繰越金として20億円増が確定したので、平成28年度予算に繰入れが行われ、財政調整基金積立金と公共施設整備基金積立金に合計15.5億円が積立てられる等の補正がなされました。

(病院事業会計関係) 平成27年度には、病院の指定管理者(青葉会)に4億円を交付していましたが、余剰金が約2.4億円できたため返還されました。これが平成28年度の特別利益となり、一般会計に戻されました。

病院事業に改善が見られ、指定管理者への実際の交付金は、平成25年3.6億円、平成26年度2.6億円、平成27年度1.6億円でした。

## (4)陳情関係

陳情第1号 川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書に関する陳情。(政府に提出する。)

## (5)一般質問関係

蓼沼議員の一般質問で、骨髄バンクに対する支援等の考えに関する質疑がありました。

(健康医療部長のと答弁) 骨髄提供者に方に、何らかの支援が必要ではないかかということで、昨年6月議会で小暮議員から一般質問をいただきましたので、その後、ドナー提供者への助成制度を検討してきました。今、検討をしているところです、との答弁あり。

## \*\* 予算・決算審査方式の課題 \*\*

現在、予算・決算の審査のために特別委員会を立ち上げ、部課長全員参加のもと合計8日間の質疑をし、議案の賛否が行われています。足利市を除く佐野市を含めた両毛6市も同じような審査方式を取っている。

一方、人口の大きな宇都宮市、小山市、栃木市や足利市等では、常任委員会や款別審査方式を取り入れ、審査している。

これら、審査方式の特徴を表2に示します。

常任委員会や款別審査方式にする主な理由は、④質問内容が深くなる、⑤職員の負担が軽くなることと思います。

因みに、全員参加による予算・決算審査方式に要する職員の時間と費用は、約6,700時間で約2,300万円位となる。これを、常任委員会による審査に変えると、約1/4位になるとと思われる。(小暮の概算)

表2 予算・決算審査方式の比較

方式	利点	欠点
部課長 全員参加	①会計全体の質問可	Ⓐ質問内容が浅くなる
	②職員が勉強になる	Ⓑ職員の負担大
常任委員会や 款別審査		Ⓒ重複質問ロス有
	③質問に良い相乗効果	Ⓓ全体の質問不可
	④質問内容が深くなる	Ⓔ職員が勉強できない
	⑤職員の負担が軽くなる	Ⓕ委員会別、款別表示